

# いのち・健康

## がんに負けず歩こう

来月22・23日  
旧広島市民球場

### 催しで患者支援

がんと闘う人たちが、がんの征伐や連帯を目指して24時間歩き続けるイベント「リレー・フォー・ライフ」が9月22、23日、広島市中区の旧広島市民球場で開かれる。日本対がん協会、リレー・フォー・ライフ広島実行委員会主催、朝日新聞社など後援。中国地方での開催は初めて。実行委は参加者を募っている。

イベントは85年、米国の医師が、がん患者を励まし、対がん運動をする団体への寄付を集めようと24時間走り続けたことをきっかけに始まり、全米では08年、5500カ所で開催された。国内では、06年に茨城県つくば市で初開催。08年度は高知や徳島など7カ所で開催、09年度は広島など14カ所で開催されている。

リレーには、24時間休むことなく増え続けるがん細胞に負けないようにという思いを込めている。22日午後1時に

スタートし、グラウンドに設けられたコースを歩いたり走ったりする。名前やメッセージを集め、キャンドルでも「ルミナリエ」や、がんの診断や治療などについての講演、コンサートもある。参加費は1人千円。ルミナリエは別に500円。収益金はがんの相談を無料で受ける

日本対がん協会に寄付される。80人限定で、乳がん検診「マンモグラフィ」を無料で受けることができる。参加資格や年齢制限はない。ホームページ (<http://rlr-hir.oshima.jp>) に詳しい。問い合わせは実行委事務局(082・542・5053)へ。(辻外記子)

### 「特別視せず まずは知って」

浜中和子実行委員長



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2009 in 広島」に込めたメッセージを、医師で乳がん経験者でもある実行委員長、浜中和子さん(写真)に聞いた。

まずは「がん患者を特別視しないで」。患者は「当たり前前の生活をしたい」と願って

も、絶望しなくても良いのです。このイベントの目的は、啓発と当時にチャリティーです。当日は旧市民球場が造られた52年前のように、たる募金もします。カーブ選手のグッズなどのオークションも予定しています。旧市民球場を歩けるチャンスととらえていただき、少しの時間だけ参加するのも大歓迎です。がんを知るきっかけ作りに、新たな連帯づくりに、1人でも、ご家族や職場の皆さんと一緒に、ぜひご参加ください。